

---

送電線建設技術研究会  
技 術 委 員 会  
安全工法専門委員会

---

送研技術資料 No.29  
(1997. 10)

# 工事中用鉄塔昇降機の管理マニュアル



社団法人 送電線建設技術研究会  
技 術 委 員 会

## 工事中用鉄塔昇降機の管理マニュアル

## 緒 言

本マニュアルは、送電線建設工事に用いる鉄塔昇降機と鉄塔昇降機用レールについて、基本的な管理方法を示したもので、平成9年8月検討に着手し、平成9年10月成案を得たので、安全工法専門委員会に報告し、技術委員会から発表するものである。

本書の作成に関与した委員は、次のとおりである。

## 技 術 委 員 会

委員長	小玉規雄	(東電工業)	委員	渡辺彰	(第一電機工業)
委員	佐久間忠男	(東北電力)	〃	高島康脩	(中電工)
〃	長野真康	(東京電力)	〃	三宅康博	(四電工)
途中退任	佐々木進	(東京電力)	〃	末守研一	(九建)
委員	佐々木賢次	(中部電力)	代表幹事	松島功	(関電工)
〃	菅田徹	(関西電力)	幹事	増山幸太郎	(岳南建設)
〃	佐川勤	(中国電力)	〃	野沢久良	(サンテック)
〃	藤丸昭夫	(九州電力)	〃	大角卓也	(東光電気工事)
〃	岡本東行	(電源開発)	〃	橋本幸太郎	(トーエネック)
〃	竹内俊策	(北海電気工事)	〃	緒方清一	(ヒメノ)
〃	渥美聰	(ユアテック)	〃	池田勤	(きんでん)
〃	嶋田潔	(佐藤建設工業)	〃	鳥越要	(住友電気工業)
〃	岩原弘久	(古河電気工業)	特別参加	梅原力	(送研)
〃	早坂栄夫	(山加電業)	参加	渡邊昭二	(岳南建設)

## 安 全 工 法 専 門 委 員 会

委員長	長野真康	(東京電力)	委員	田中輝彦	(開発電気)
途中退任	佐々木進	(東京電力)	〃	田野実泰宏	(古河電気工業)
委員	久保田雄二	(東北電力)	〃	高橋進	(ヒメノ)
〃	三好慧典	(中部電力)	〃	山崎武	(住友電気工業)
〃	山元康裕	(関西電力)	〃	中村勝宣	(九建)
〃	吉迫徹	(九州電力)	総括幹事	小川正浩	(東京電力)
〃	渥美聰	(ユアテック)	〃	増山幸太郎	(岳南建設)

幹 事 小 川 照 夫 (関 電 工)  
 " 西 本 清 (佐藤建設工業)  
 " 野 沢 久 良 (サンテック)  
 " 根 本 敏 達 (千歳電気工業)  
 " 浅 井 郁 夫 (東光電気工事)

幹 事 松 原 二 六 (トーエネック)  
 " 池 田 勤 (きんでん)  
 特別参加 梅 原 力 (送 研)  
 参 加 渡 邊 昭 二 (岳 南 建 設)

工 事 用 鉄 塔 昇 降 機 管 理 マ ニ ュ ア ル 検 討 W G

委 員 小 川 正 浩 (東 京 電 力)  
 " 増 山 幸 太 郎 (岳 南 建 設)  
 " 小 川 照 夫 (関 電 工)  
 " 渡 部 和 彦 (佐藤建設工業)  
 " 山 田 邦 昭 (東光電気工事)  
 " 根 本 敏 達 (千歳電気工業)

委 員 田 野 実 泰 宏 (古河電気工業)  
 " 安 藤 邦 敏 (三和テキキ)  
 " 和 賀 和 夫 (巴 技 研)  
 参 加 田 中 鉦 治 (送 研)  
 " 白 石 勲 (送 研)

はじめに

工事用鉄塔昇降機（以下昇降機と呼ぶ）は昭和47年から実用に供され、以来逐次改良が重ねられつつ、その使用も拡大され作業者の安全性確保と作業能率の向上に多大な貢献をしてきた。

昇降機の実用化にあたっては、送電線建設技術研究会・技術委員会・安全工法専門委員会が主体となって、昇降機と昇降機用レールの「基本仕様」およびその管理運営・点検・整備に関する「管理要項」を制定し、逐次安全性や耐用年数などの見直し改訂を行い現在に至っている。昇降機に関する送電線建設技術研究会における検討経緯は以下の通りである。

- |       |     |                                       |
|-------|-----|---------------------------------------|
| 昭和47年 |     | ：昇降機が実用化                              |
| 昭和50年 | 3月  | ：昇降機と昇降機用レールの「基本仕様」の制定                |
| 昭和54年 | 2月  | ：「基本仕様」への保守用昇降機の追加および「管理要項」の追加制定      |
| 昭和57年 | 3月  | ：「基本仕様並びに管理要項」における昇降機の安全装置に関する見直し改訂   |
| 昭和59年 | 10月 | ：「基本仕様並びに管理要項」における昇降機の継続使用に関する見直し改訂   |
| 昭和62年 | 6月  | ： ”                                   |
| 平成6年  | 8月  | ：昇降機の安全性、操作性について一層の向上を図る検討            |
| 平成7年  | 12月 | ：昇降機用レールの安全・品質面から見た構造、保守管理、撤去作業手順等の検討 |

「鉄塔昇降機の基本仕様並びに管理要項」については、特定の昇降機（SVE-240C, D, TRE-240C, D）を対象としているが、近年、それ以外の構造の昇降機が相次いで開発されているため、これら新機種 of 昇降機には適合しない箇所が生じている。

そこで現行の「鉄塔昇降機の基本仕様並びに管理要項」の見直し改訂の必要性について検討を行った結果、多種多様なニーズに応えうるような「基本仕様」を定めることは実質的に困難であり、かつ製造物責任法が制定されたことにより、送電線建設技術研究会が「基本仕様」を定めるのは必ずしも適切ではないとの認識から、廃止することとした。

一方、「管理要項」については、使用者の多くが昇降機の管理や運転者の技能講習などに活用している現状を踏まえ、現行で対象としているピンラック方式昇降機用レールとそれに適合する構造の昇降機の基本的な管理方法のみを示した「管理マニュアル」として存続させることとした。

今後、昇降機や昇降機用レールの管理に当たっては、本マニュアルを参考にしていただきたい。

# 鉄塔昇降機の管理マニュアル

## 目 次

1.	適用範囲	1
2.	昇降機及び昇降機用レールの管理、運営	1
3.	同乗者	2
4.	教育講習	2
5.	昇降機及び昇降機用レールの取扱い	3
6.	点 検	5
7.	昇降機の定期整備	7
8.	昇降機の特別整備	7
9.	昇降機及び昇降機用レールに関する文書保管	7
10.	その他の注意事項	8
別表1-1	昇降機の始業時点検・設置時点検表(例)	9
別表1-2	昇降機の定期点検項目(例)	10
別表2-1	昇降機用レールの搬入時点検表	13
別表2-2	昇降機用レールの設置時・始業時・臨時点検表	14